

# 学校だより

伊豆市立熊坂小学校

12月号

令和2年度 学校教育目標『気づき 考え やりぬく子』

重点目標「すすんでやります 心をこめて」

合い言葉「明るいあいさつ きれいな学校」

学校経営目標「楽しい学校づくり～子どもが主役の学校～」

熊坂小学校長 松下 八十二

## 「寒いね」と話しかければ「寒いね」と 応える人のいる あたたかさ [俵万智]

12月に入ったのと同時に、寒さも厳しくなってきました。子どもたちは歌に詠まれているように、冬の寒さの中でも友だちと声を掛け合い、朝からグラウンドへ出て縄跳びの練習に励んでいます。毎朝グラウンドでは、「二重跳びが跳べるようになった」「後ろあや跳びが〇回跳べた」「〇〇跳びができるようになったので、見て」などの会話が飛び交い、子どもたちの頑張りや成長が伺えます。

2020年は、流行語大賞の「3密」をはじめ、選ばれたベスト10の実に半分がコロナウイルス関連の言葉であったことから、コロナウイルスへの対応に追われた年だったことが分かります。しかし、そのような状況の中でも子どもたちは常に前を向き、歩みを止めずに進み、成長してくれています。また、その頑張りや成長を、今年度は保護者の皆様だけでなく、多くの地域の方が見守ってくれたことを大変うれしく思います。コロナウイルスで制約がかかる中でしたが、子どもたちの頑張りや、多くの保護者・地域の方に支えられた2020年でした。ありがとうございました。

## 持久走大会、応援・協力ありがとうございました

12月2日(水)に持久走大会を実施しました。前日までと打って変わって寒い日でしたが、長距離を走るのにはちょうどよい気候だったように思います。持久走大会の目標は「自己新記録を目指し練習に取り組むことを通して、最後までやり抜く力を育む」です。「やり抜く」という言葉には、「意志」「気持ち」が含まれ、「目標をもって向かっていく」という強い決意が込められています。持久走大会での一番の敵は自分です。人は苦しいことから楽な方へ逃げたいという気持ちをもっています。しかし、子どもたちには、自分に負けず苦しいことから逃げずに向かっていける強い気持ちを身に付けてほしいという願いを込めた行事です。



今年度の持久走は変更点が2つあります。1つは距離を短くしたことです。

もう1つは、練習を頑張った子を表彰してあげることです。1位になるということは大変素晴らしいことです。しかし、結果は残せなかったが、持久走大会に向けて頑張った子はたくさんいます。そこで、持久走大会までにグラウンドを200周走った子を表彰することにしました。全校児童の4分の3(約75%)の人が、200周を達成できました。中には、500周以上走った子もいました。



苦しいことから逃げず、自分のできる限りの努力を積み重ねることは、子どもたちに苦しいことがあったときに自力で乗り切れる力を育み、今後の人生の中で大いに役立つと思います。「努力すること」「頑張ること」が大切であることを子どもたちに分かってもらうためにも、頑張っている子を我々職員が見逃さずに、タイミングよく認め、褒めていきたいと思います。保護者の皆様も、頑張っている子をぜひ褒め、励ましてあげてください。

また、子どもたちの持久走大会の感想には、「多くの保護者や地域の方が応援してくれたことがうれしかった。」と書いてありました。子どもたちにとっ

て、たくさんの方が見て、声を掛けてくれることが励みになっていることが分かります。今年度は、地域連携を強く勧めています。コロナウイルスのこともあります。できるだけ学校へ足を運んでいただける機会を設けるようにしています。ぜひ、時間に余裕のある方は学校へ足を運んで、子どもたちの頑張る姿を見て声を掛けていただければと思います。

終わりになりますが、ボランティアで参加していただいた保護者の皆様、沿道で声援を送っていただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。お陰様で無事に持久走大会を終えることができました。



## 地域とともにある学校～コミュニティスクールの取り組み～

### <1・2年生 サツマイモの収穫 11月9日>



春のつるさしから地域の皆さんにご協力をいただいたサツマイモ。つるさしのときには、「一本のつるからいくつの芋ができるかなあ」「誰の芋が一番大きいか」と話していた子どもたち。この日は収穫を行いました。大きく育ったサツマイモを手に、どの子も皆、笑顔でした。その後、子どもたちは焼き芋にして食べたり、持久走大会試走等で来校いただいた保護者の皆さんに買っていただいた

りしました。畑の先生として継続的に来ていただいている方だけでなく、夏休みには、地域の方に水くれをしていただいて育ったサツマイモです。育てる楽しさ、焼けたイモの香りやおいしさ、そして地域の人の優しさも感じられた活動となりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



### <3・5年生 餅つき体験 12月2日>

12月2日、持久走大会後に3・5年生は地域の皆さんと一緒に餅つき体験を行いました。今年度は、地域づくり協議会の方が田を借りてくださり、5年生が6月に田植え、10月に稲刈りを行った餅米を利用しました。また社会科で「人々の暮らしの移り変わり（昔の暮らし）」を学習する3年生も併せて参加となりました。

餅つき体験は初めての企画ということもあり、子どもたちだけでなく、参加する全ての方が安全に、安心して活動できるようにと、地域の皆さんが何度も会合を開き、リハーサルを重ねてくださいました。この日も朝早くから30名程の方にお集まりいただき、手際よく準備を進め、体験する子どもだけでなく、全校児童にお土産のお餅まで用意していただきました。地域の方からは「子どもたちがおいしそうに食べているのを見ると嬉しい気持ちになるよ」「子どもたちが楽しそうにやってくれてよかった」ともお話いただき、本当にありがたい気持ちで一杯です。子どもたちの中には、餅が米からできていることを初めて知った子、自分で餅をつくのは初めてという子など、教科書だけでは学べない「本物に触れる」体験をすることができました。

#### <子どもたちの感想>

- 初めて、うすときねでおもちをついて楽しかったです。食べたら、すごくおいしかったです。またおもちをつきたいです。(3年生)
- うすときねを使ってもちをつくことは、めったにないので楽しくできました。昔のもちつきは知っていたけど、きねの重さなどは知らなかったし、よい体験になりました。(5年生)
- 餅つきは度々家でやったことがあったけど、自分たちで植えたり、刈ったりした餅米からつくのは初めてだった。今は餅つき機などの機械があるけど、人の手でやるのは伝統として続けてほしいと思った。(5年生)

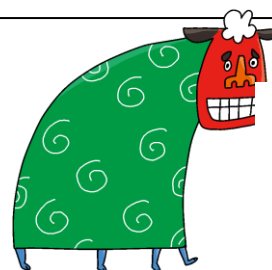
#### <保護者の感想>

- 餅米をふかしたときの香りもかけたり、餅をつくときの振動を感じたり、とても良い経験だなあと思いました。コロナの事も心配でしたが、細かい対策もされていて、安心して参加できました。



### 1月の主な予定

- 12月26日(土) ~1月5日(火) 冬季休業
- 1月 6日(水) 始業式 11:30下校
- 14日(木) リレー会
- 15日(金) 6年生思春期講座
- 16日(土) 資源回収(予備日17日)



交通事故・怪我等にも十分に気をつけ、楽しい冬休みを!